



平成27年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プレサンスコーポレーション
コード番号 3254 URL <http://www.pressance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山岸 忍

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 土井 豊

TEL 06-4793-1650

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	57,342	36.0	12,252	34.7	12,125	34.2	7,814	40.7
26年3月期第3四半期	42,166	10.9	9,098	5.6	9,033	5.7	5,552	1.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 7,820百万円 (40.9%) 26年3月期第3四半期 5,550百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	508.96	507.93
26年3月期第3四半期	366.43	362.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	88,504	44,663	50.4
26年3月期	76,614	37,555	49.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 44,647百万円 26年3月期 37,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		50.00	50.00
27年3月期		0.00			
27年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当金の内訳 普通配当40円 記念配当10円

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,203	22.1	11,198	8.4	11,013	7.3	7,047	12.1	459.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	15,366,000 株	26年3月期	15,322,600 株
27年3月期3Q	34 株	26年3月期	株
27年3月期3Q	15,354,060 株	26年3月期3Q	15,153,159 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 受注の状況	10
(2) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和政策の効果が実体経済へと徐々に波及していることにより、企業業績は堅調に推移しており、雇用情勢にも改善の兆しがみられるものの、消費増税の駆け込み需要に対する反動による個人消費の落ち込みが長期化しており、先行き不透明な状況にあります。

当不動産業界におきましては、三大都市圏の公示地価が6年ぶりに上昇に転じており、土地代が上昇していること、東京オリンピック開催や震災復興に伴い、旺盛な建設需要が工事費を押し上げていること等、先行き不透明感が強まっておりますが、日本銀行の追加金融緩和政策による良好な資金調達環境を背景に、J-REITを中心に不動産取引が活発化しております。また、低金利融資が継続していること、住宅ローン減税政策等の住宅取得支援制度が継続して実施されていることから、都心部の新築分譲マンション契約率につきましては、堅調に推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、三大都市圏の都心部を中心とした事業エリアにて、顧客のニーズに合致した分譲マンションを適正価格で供給してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高57,342百万円(前年同期比36.0%増)、営業利益12,252百万円(同34.7%増)、経常利益12,125百万円(同34.2%増)、四半期純利益7,814百万円(同40.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(不動産販売事業)

不動産販売事業におきましては、ファミリーマンション「プレサンスロジェシリーズ」のプレサンスロジェ心斎橋(総戸数84戸)等の販売が順調に推移いたしました。その結果、ワンルームマンション売上高13,693百万円(873戸)、ファミリーマンション売上高38,053百万円(1,218戸)、一棟販売売上高3,256百万円(197戸)、その他住宅販売売上高147百万円(10戸)、その他不動産販売売上高71百万円(1戸)、不動産販売附帯事業売上高162百万円となり、不動産販売事業の合計売上高は55,385百万円(前年同期比35.5%増)、セグメント利益は11,887百万円(同35.1%増)となりました。

(その他)

その他の不動産賃貸事業等におきましては、自社保有物件が堅調に稼働いたしました。その結果、その他の売上高は1,957百万円(前年同期比52.1%増)、セグメント利益は807百万円(同22.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて11,192百万円増加し、81,989百万円(前期末比15.8%増)となりました。その主な要因は、マンションの引渡しが順調に推移したこと等により、現金及び預金が6,916百万円増加したこと、積極的に開発用地を取得したこと等により、たな卸資産が4,599百万円増加したこと等です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて697百万円増加し、6,514百万円(前期末比12.0%増)となりました。その主な要因は、販売用不動産として開発しておりましたワンルームマンションのプレサンス北浜パレスを保有目的の変更に伴い、賃貸不動産に811百万円振替えたことから、賃貸不動産が671百万円増加したこと等です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて4,781百万円増加し、43,840百万円(前期末比12.2%増)となりました。その主な要因は、大規模な工事代金に関する支払手形の期日が到来したこと等により、支払手形が4,107百万円減少したのに対して、積極的に開発用地を取得したことにより、借入金が9,265百万円増加したこと等です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7,108百万円増加し、44,663百万円(前期末比18.9%増)となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上等に伴い、利益剰余金が7,048百万円増加したこと等です。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ6,916百万円増加し、25,533百万円(前期末比37.2%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は1,642百万円(前年同期は7,198百万円の増加)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が12,129百万円あったことにより、資金が増加したのに対して、積極的に開発用地を取得したことにより、たな卸資産が5,409百万円増加したこと、大規模な工事代金に関する支払手形の期日が到来したこと等により仕入債務が4,035百万円減少したこと、法人税等を4,031百万円支払ったこと等により、資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は10百万円(前年同期は42百万円の減少)となりました。

これは主に、固定資産の取得により9百万円資金が減少したのに対し、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得により20百万円資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は8,548百万円(前年同期は1,620百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金を764百万円支払ったことにより資金が減少したのに対して、金融機関から9,264百万円借入れしたことにより、資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力事業であるマンション販売事業は、顧客への引渡しをもって売上が計上されるため、四半期ごとに当社グループの業績を見た場合、物件の引渡し時期に伴い業績に偏重が生じる傾向があります。なお、当第3四半期連結累計期間の業績は、順調に推移しており、現時点においては平成26年5月8日発表の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(法人税等の計上基準)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,676,865	25,593,522
売掛金	27,024	29,879
販売用不動産	3,638,215	1,668,695
仕掛販売用不動産	46,912,260	53,530,432
原材料及び貯蔵品	141,060	92,189
その他	1,401,203	1,074,379
流動資産合計	70,796,631	81,989,098
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	4,959,763	5,631,595
その他(純額)	231,720	219,787
有形固定資産合計	5,191,484	5,851,383
無形固定資産	32,144	26,926
投資その他の資産	593,854	636,605
固定資産合計	5,817,482	6,514,915
資産合計	76,614,114	88,504,013
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,112,984	1,050,679
短期借入金	—	9,090,000
1年内返済予定の長期借入金	5,116,600	1,056,600
未払法人税等	2,205,628	2,513,930
前受金	5,326,078	4,162,898
賞与引当金	61,940	35,980
その他	1,535,611	1,961,637
流動負債合計	19,358,842	19,871,726
固定負債		
長期借入金	19,307,250	23,542,300
役員退職慰労引当金	392,935	426,601
固定負債合計	19,700,185	23,968,901
負債合計	39,059,027	43,840,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,418,558	1,447,636
資本剰余金	1,348,558	1,377,636
利益剰余金	34,763,020	41,811,431
自己株式	—	△115
株主資本合計	37,530,136	44,636,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,801	11,160
その他の包括利益累計額合計	5,801	11,160
新株予約権	19,149	8,863
少数株主持分	—	6,774
純資産合計	37,555,087	44,663,385
負債純資産合計	76,614,114	88,504,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	42,166,555	57,342,585
売上原価	28,019,747	39,327,513
売上総利益	14,146,808	18,015,071
販売費及び一般管理費	5,048,599	5,763,058
営業利益	9,098,209	12,252,013
営業外収益		
受取利息	2,113	1,916
受取配当金	887	1,066
違約金収入	25,761	50,639
仕入割引	18,626	11,403
その他	29,967	31,656
営業外収益合計	77,355	96,682
営業外費用		
支払利息	133,352	212,976
その他	8,382	10,000
営業外費用合計	141,734	222,976
経常利益	9,033,829	12,125,719
特別利益		
固定資産売却益	—	905
負ののれん発生益	—	3,225
特別利益合計	—	4,131
特別損失		
固定資産除却損	4,126	122
特別損失合計	4,126	122
税金等調整前四半期純利益	9,029,703	12,129,727
法人税等	3,477,106	4,314,250
少数株主損益調整前四半期純利益	5,552,596	7,815,477
少数株主利益	—	936
四半期純利益	5,552,596	7,814,540

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,552,596	7,815,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,985	5,358
その他の包括利益合計	△1,985	5,358
四半期包括利益	5,550,611	7,820,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,550,611	7,819,899
少数株主に係る四半期包括利益	—	936

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,029,703	12,129,727
減価償却費	85,234	167,108
株式報酬費用	13,588	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,640	△25,960
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	31,535	33,666
負ののれん発生益	—	△3,225
受取利息及び受取配当金	△3,000	△2,982
支払利息	133,352	212,976
固定資産売却損益(△は益)	—	△905
固定資産除却損	4,126	122
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,430,900	△5,409,482
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,487,294	△4,035,845
前受金の増減額(△は減少)	791,843	△1,151,693
未払消費税等の増減額(△は減少)	338,408	685,624
未収消費税等の増減額(△は増加)	256,780	△573
その他	△231,864	3,129
小計	11,370,674	2,601,688
利息及び配当金の受取額	3,356	3,191
利息の支払額	△137,599	△216,348
法人税等の支払額	△4,038,405	△4,031,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,198,025	△1,642,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△41,306	△9,551
固定資産の売却による収入	—	946
投資有価証券の取得による支出	△1,372	△1,480
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	20,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,678	10,762
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	9,089,700
長期借入れによる収入	6,370,000	13,860,000
長期借入金の返済による支出	△7,754,850	△13,684,950
株式の発行による収入	290,971	47,870
自己株式の取得による支出	—	△115
配当金の支払額	△526,167	△764,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,620,045	8,548,431
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,535,300	6,916,656
現金及び現金同等物の期首残高	14,437,536	18,616,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,972,837	25,533,522

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	40,879,575	40,879,575	1,286,980	42,166,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	40,879,575	40,879,575	1,286,980	42,166,555
セグメント利益	8,798,311	8,798,311	659,863	9,458,175

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、損害保険代理事業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	8,798,311
「その他」の区分の利益	659,863
全社費用(注)	△359,966
四半期連結損益計算書の営業利益	9,098,209

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	不動産販売事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	55,385,297	55,385,297	1,957,287	57,342,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	55,385,297	55,385,297	1,957,287	57,342,585
セグメント利益	11,887,037	11,887,037	807,305	12,694,342

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸・仲介・管理、損害保険代理事業、マンションの内装工事等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	11,887,037
「その他」の区分の利益	807,305
全社費用(注)	△442,329
四半期連結損益計算書の営業利益	12,252,013

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

セグメントの名称	区分	契約高				契約残高			
		数量(戸)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)	数量(戸)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	ワンルームマンション	817	125.9	12,880,655	128.6	297	116.9	4,881,620	122.1
	ファミリーマンション	1,149	221.8	36,565,719	227.6	1,229	200.8	37,062,105	197.8
	シニア向けマンション	—	—	2,480	0.3	—	—	—	—
	一棟販売	310	238.5	4,358,652	332.7	258	153.6	3,854,418	210.6
	その他住宅販売	38	52.1	586,972	51.3	5	166.7	50,169	64.4
	その他不動産販売	—	—	—	—	—	—	—	—
報告セグメント計		2,314	164.0	54,394,479	184.5	1,789	171.7	45,848,314	185.0

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

セグメントの名称	区分	契約高				契約残高			
		数量(戸)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)	数量(戸)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	ワンルームマンション	989	121.1	15,668,914	121.6	429	144.4	6,942,214	142.2
	ファミリーマンション	911	79.3	29,814,333	81.5	1,229	100.0	37,838,547	102.1
	シニア向けマンション	—	—	—	—	—	—	—	—
	一棟販売	638	205.8	7,839,039	179.9	703	272.5	8,536,832	221.5
	その他住宅販売	10	26.3	136,325	23.2	1	20.0	10,227	20.4
	その他不動産販売	1	—	3,903,126	—	—	—	3,831,177	—
報告セグメント計		2,549	110.2	57,361,739	105.5	2,362	132.0	57,158,998	124.7

- (注) 1. 本表におきまして「受注高」は「契約高」と読み替えております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。
 4. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部をマンション販売業者に卸売する方法であります。
 5. その他住宅販売とは、中古住宅流通事業、戸建分譲事業等、新築マンション以外の住宅の販売であります。
 6. その他不動産販売とは、商業用店舗、開発用地等の住宅以外の不動産の販売であります。
 7. 当第3四半期連結累計期間のその他不動産販売の契約高は商業用店舗(49,949千円)と開発用地(3,853,177千円)に関するもので、契約残高は開発用地(3,831,177千円)に関するものであります。
 8. 報告セグメントに含まれない事業セグメントについては、該当事項はありません。

(2) 販売の状況

セグメント の名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)			
		数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)	数量 (戸)	前年 同期比 (%)	金額 (千円)	前年 同期比 (%)
不動産 販売事業	ワンルーム マンション	973	148.3	15,413,935	146.4	873	89.7	13,693,480	88.8
	ファミリー マンション	676	86.1	22,295,550	99.6	1,218	180.2	38,053,826	170.7
	シニア向け マンション	8	19.5	216,711	22.7	—	—	—	—
	一棟販売	209	181.7	2,182,832	151.1	197	94.3	3,256,201	149.2
	その他住宅 販売	38	43.2	622,738	48.0	10	26.3	147,310	23.7
	その他不動産 販売	—	—	—	—	1	—	71,949	—
	不動産販売 附帯事業	—	—	147,808	104.2	—	—	162,530	110.0
報告セグメント計		1,904	112.8	40,879,575	111.0	2,299	120.7	55,385,297	135.5
その他		—	—	1,286,980	107.9	—	—	1,957,287	152.1
合計		1,904	112.8	42,166,555	110.9	2,299	120.7	57,342,585	136.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額には、追加工事の金額も含まれております。
 3. 一棟販売とは、マンション一棟もしくはその一部をマンション販売業者に卸売する方法であります。
 4. その他住宅販売とは、中古住宅流通事業、戸建分譲事業等、新築マンション以外の住宅の販売であります。
 5. その他不動産販売とは、商業用店舗、開発用地等の住宅以外の不動産の販売であります。
 6. 不動産販売附帯事業とは、マンションの販売代理手数料、及び不動産販売事業に附随して発生する事務手数料等であります。
 7. 当第3四半期連結累計期間のその他不動産販売の売上高は、商業用店舗(49,949千円)と開発用地(22,000千円)に関するものであります。